

IV. ポール・ラッシュ博士記念奨学金

1. 概要

ポール・ラッシュ博士記念奨学金は、キリスト教の精神にもとづいて、地域、教会、病院などへの奉仕活動を生涯にわたって実践された、元本学名誉教授ポール・ラッシュ博士を記念して設けられました。この奨学金は、キープ協会在米後援会（キープ協会は、地域活動、キリスト教学生活動などの拠点として同博士が設立された機関です）、およびその他の有志によって寄贈された基金とその収益金をもとに支給されるものです。

この奨学金の目的は、ポール・ラッシュ博士の精神や生涯にわたる諸活動を記念し、本学学生の奉仕の精神に基づく諸活動を奨励し、援助することです。

対象・条件等は、次の通りとなります。

1. 本奨学金は奉仕の精神に基づく活動を行う本学学生（個人または団体）を対象とする。「奉仕の精神に基づく活動」とは教育、福祉、環境保護、開発、国際交流、災害復興支援等、様々な領域における社会貢献を目的としたボランティア活動等を指し、活動の現場は国内外を問わない。
2. 営利的活動、学術研究やそのための調査などを目的とした活動は対象としない。
3. 本奨学金の主旨にかんがみ、申請者はポール・ラッシュ博士の生涯やキリスト教における奉仕の精神について学ぼうとする姿勢が求められる。
4. 本奨学金採用者は、後日、キープ協会を訪問し、ポール・ラッシュ博士の精神や活動について学習する。
5. 申請者（代表者）は当該年度の健康診断を受診していなければならない。
奨学金額は、年額合計 70 万円以内（給与奨学金）。

2. 2021 年度募集説明会

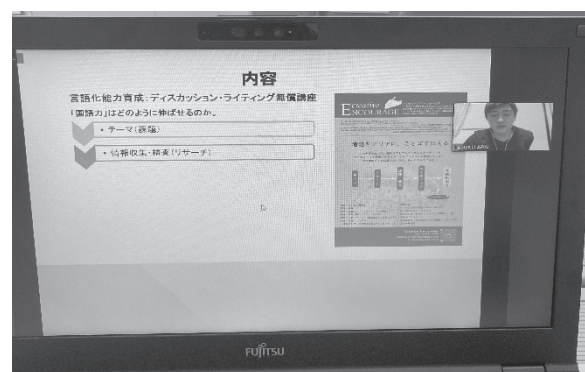
開催日時	2021. 5. 10（月） 18:30～19:10
開催場所	オンライン開催 Zoom 使用
内容	(1) ポール・ラッシュ博士の人物像と立教大学におけるボランティア活動支援 ボランティアセンター副センター長 中川 英樹 (2) 奨学金募集についての説明 総長室社会連携教育課課長 佐藤 一宏 (3) 募集要項について 総長室社会連携教育課 阪下 利哉 (4) 質疑応答
参加者数	17 名（本学学生 14 名、教職員 3 名）
今後に向けて	一度は説明会を開催したが、新型コロナウイルス感染拡大により、選考会を秋学期へ延期することを発表した。

開催日時	2021. 9. 27（月） 12:30～13:00
開催場所	オンライン開催 Zoom 使用
内容	(1) ポール・ラッシュ博士の人物像と立教大学におけるボランティア活動支援 総長室社会連携教育課課長 佐藤 一宏 (2) 奨学金募集・募集要項についての説明 総長室社会連携教育課 阪下 利哉 (3) 質疑応答
参加者数	6 名（本学学生 4 名、教職員 2 名）

今後に向けて	活動再開の見通しがたったため、再度、オンラインで説明会を開催した。事前申込者は15名であったが、参加者は4名であった。
--------	---

3. ポール・ラッシュ博士記念奨学金

募集期間	2021. 9. 28 (火) ~ 10. 15 (金) 15:30
選考委員	首藤 若菜 (選考委員長、ボランティアセンター長) 広田 勝一 (チャプレン長、立教学院院長) 水谷 隆之 (文学部)、森本 壮亮 (経済学部) [学部順輪番委員] ドノヴァン・ハーバード・A (経営学部)
選考日	2021. 10. 26 (火) 19:00~19:40 太刀川記念館第2会議室
受給者	新井 佑 文学研究科 ドイツ文学専攻 博士後期課程3年 「板橋区を拠点に、言語化能力育成、学習支援教室およびサードプレイスを開放する」28万8千円
授与式	2021. 11. 9 (火) 12:30~13:00 場所：オンライン開催 Zoom 使用 出席：浅田 豊久 (公益財団法人キープ協会理事長) 桑田 秋光 (公益財団法人キープ協会副理事長) 西原 廉太 (総長) 首藤 若菜 (選考委員長、ボランティアセンター長) 広田 勝一 (チャプレン長、立教学院院長) 水谷 隆之 (文学部) 佐藤 一宏 (総長室社会連携教育課課長) 阪下 利哉 (総長室社会連携教育課)
今後に向けて	2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、春学期中の募集を一旦中止としたが、感染状況が落ち着いた秋学期には、対面での選考会を実施することができた。なお、授与式は11月にオンラインにて行われた。2021年度は、「板橋区を拠点に、言語化能力育成、学習支援教室およびサードプレイスを開放する」に28万8千円の支給となった。 この企画は、板橋区に、通常期は、主に中高生を対象とした言語化能力育成のための学習指導、長期休暇には小学生を対象とした学習支援教室を運営し、特にコロナ禍で不足する子どもの学習場所となるサードプレイスを提供するという内容である。 今後の予定は、2022年3月上旬に活動・決算報告書が提出されることになる。また、例年、活動終了後に受給者の学生はキープ協会・清泉寮を表敬訪問し、キープ協会関係者に活動の報告を行い、ポール・ラッシュ記念館を見学するなど、交流の機会が与えられる。



オンライン授与式の様子